



「IoTと地域コミュニティの融合による 安心・安全な街づくりを目指して」

日時：2018年3月2日（金）15:00～16:30

場所：同志社大学 今出川校地 寒梅館3階 プレゼンテーションホール
<http://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/muromachi.html>

講師：**荳司 洋三 氏**

国立研究開発法人 情報通信研究機構

ソーシャルイノベーション推進研究室 室長（工学博士）

近年、地域が抱える様々な課題の解決手段としてIoT（モノのインターネット）技術の利活用に注目が集まっています。IoTとは何なのか？そして、IoTと地域コミュニティの融合で構築される地域のIoTインフラ、地域IoT基盤とはどのようなものか？応用事例を踏まえて分かり易く解説します。特に、飲料メーカー大手のアサヒ飲料株式会社、およびタクシー配車システム国内シェアトップの株式会社デンソーテン（以前の株式会社富士通テン）等の協力を得て進めている、東京都墨田区での地域IoT基盤プロトタイプ構築事例と、これらを活用した“データの地産地消”サービスに関わる実証実験の様子について紹介し、従来の技術先導型ソリューションではないIoT利活用サービスの在り方と、これらが社会的に広く受け入れられる要素は何なのか？についてオープンに議論します。

講師プロフィール：

1999年 大阪大学大学院博士後期課程を修了し、郵政省 通信総合研究所（現在の国立研究開発法人 情報通信研究機構）に入所。以降、ミリ波通信システム、光通信システム、有無線統合ネットワーク等の研究開発に従事。60GHz帯を用いるWPANシステムのIEEE標準化活動においても、新たなチャンネルモデル（TSVモデル：Shoji-Sawada-Salah-Valenzuelaモデル）を提案し採択されるなどの貢献を残す。2007年 電子情報通信学会 エレクトロニクスソサイエティ賞を受賞。2008年 文部科学省 若手科学者賞を受賞。2009年度 日本学術振興会 優秀若手研究者海外派遣事業での採択を受け、2010年度 英国University College London 客員研究員を務める。2014年より現職。“データの地産地消”をコンセプトとした、地域におけるIoT基盤の在り方についての研究活動を推進している。



参加費無料

参加申込は <https://goo.gl/forms/bTnqixtklRA6t71K2> よりお願い致します。

同志社大学 技術・企業・国際競争力研究センター（ITEC）

TEL：075-251-3779 E-mail：itec@doshisha-u.jp

URL：<http://www.itec.doshisha-u.jp/j/>

ITEC

Institute for Technology,
Enterprise and Competitiveness